

# 論壇

目的持てば成果大きく

教育経済の専門家の話を聞いてみると教育投資という言葉がしばしば出てくる。教育には確かに投資という面がある。時間と手間をかけて教育を受けておけばそれが将来のリターン(収益)として返ってくるからだ。教育には重要な側面がいろいろあるの、投資としての面だけを強調するのは好ましくないが、確かにそうした経済的な視点は重要だ。

伊藤 元重 (国際経済学) 大学院教授

上る前に適切な教育機会があれば、大きな成果が期待できるというものだ。もちろん幼児教育と小学校以降の教育の自身は違つたろう。ただ、この研究者の指摘は、幼児期にもっときちつと教育機会を提供することは、小学校以降の教育に同じ程度の追加的なコストをかけるよりも成果が大きいという指摘だ。

## 社会人への教育投資

こうした研究結果は、国によってその評価や解釈は異なるだろう。米国での研究成果をすぐに日本に適用できるわけでもない。ただ、この研究結果が日本でもしばしば引用され、幼児教育をもっと充実させるべきだという指摘をする専門家も少なくない。

私は教育の専門家ではないので、日本の幼児教育について何か意見を申し上げる立場にはない。ただ教育への投資のリターンとこのことで、私にも言いたいことが一つある。それは社会人にとつての教育のリターンが非常に高いということ、そしてそれにもか

かわらず社会人の教育への投資が非常に小さいということだ。社会人というのは、20代や30代も入るが、特に40代以降の中高年による教育投資をもっと増やすべきだ。いまさら学校に行くなんて、と思われるかもしれない。もちろん学校に行くことだけを言っている

わけではない。本やネット教材で学ぶのでも良いし、関心のあるテーマについて講座を聴講するのもよい。成人が目的を持って教育に投資すれば、その成果は非常に大きいはずだ。

### 人生通じ「学び」継続を

ITが苦手だからこそ遠ざかっている人が多いが、成人のための特別コースがあれば、驚くべきスピードで必要なスキルが身につくはずだ。学校の時代に歴史の授業がつまらなかつた人にも、興味を持つている歴史のテーマについての社会人の講座は楽しいだろう。社会が大きく変わる中で新しい仕事にチャレンジしたい人にとって、必要な知識や技術を身につけることができる講座が必要なはずだ。

残念ながら、日本では成人のための教育の機会があまりにも少ない。学校時代に勉強していれば、あとは実地だけで学べという姿勢が強い。実地でいろいろなことを学ぶことも重要ではあるが、系統的な教育が社会によって提供されることは絶対に必要である。人生100年時代ということで、世界的にリカレント教育の重要性が言われている。人生を通じて学び続けるということがリカレント教育の基本である。20代や30代はもちろん、40代でも50代でも60代でも、教育のリターンは高いはずである。リターンが高いだけでなく、新しいことを学ぶことは楽しく刺激的でもあるはずだ。より多くの人がリカレント教育の重要性を認識してほしい。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。